

年金記録訂正請求に係る答申について

関東信越地方年金記録訂正審議会

(千葉県担当部会)

令和6年9月12日答申分

○答申の概要

年金記録の訂正を不要としたもの

1件

国民年金関係

1件

厚生局受付番号 : 関東信越(千葉)(受)第2400525号

厚生局事案番号 : 関東信越(千葉)(国)第2400002号

第1 結論

昭和46年*月*日から昭和50年4月1日までの請求期間については、国民年金保険料を納付した期間に訂正することを認めることはできない。

第2 請求の要旨等

1 請求者の氏名等

氏名 : 男

基礎年金番号 :

生年月日 : 昭和26年生

住所 :

2 請求内容の要旨

請求期間 : 昭和46年*月*日から昭和50年4月1日まで

請求期間の国民年金保険料を納付していたが、国の記録では国民年金の未加入期間とされている。父から国民年金に加入するよう勧められ、初回は自分が納付書で納付し、2回目以降は父が納付してくれた。調査の上、請求期間を保険料納付済期間として記録を訂正してほしい。

第3 判断の理由

A市に係る国民年金手帳記号番号払出簿を調査したものの、請求期間について、請求者に国民年金手帳記号番号が払い出されたことを確認することができない上、社会保険オンラインシステム及び国民年金手帳記号番号払出簿検索システムによる氏名検索の結果、請求者に国民年金手帳記号番号が払い出された形跡は見当たらないことから、請求期間は国民年金の未加入期間であり、国民年金保険料を納付することができない。

また、請求者は、初回保険料をB郵便局で自身が納付書で納付した旨回答しているところ、A市は、請求期間において郵便局での窓口では、納付書での払い込みはできなかった旨陳述・回答している。

さらに、請求期間(初回保険料を除く。)について、国民年金の加入手続及び保険料を納付したとする請求者の父は既に亡くなっていることから、請求期間に係る国民年金の加入手続及び保険料納付の状況については不明である。

このほか、請求期間の国民年金保険料を納付していたことを示す関連資料(家計簿、確定申告書等)はなく、ほかに請求期間について、請求者の保険料が納付されていたことをうかがわせる周辺事情も見当たらない。

これら請求内容及びこれまで収集した関連資料、周辺事情を総合的に判断すると、請求者が請求期間の国民年金保険料を納付していたものと認めることはできない。